

だれが止める交

9月28日水、立仏小学校での自転車教室にPTAの役員の方々が手伝った。



来年はうちの子供が中学へ。自転車通学ですから、自転車の交通ルールはしっかり身につけてもらわないと。(大石裕子さん・立仏小PTA会長・寺地・写真左)
夜、車の運転をしていてこわいのは無灯火の自転車。本人はいいいんですよ。せひライトをつけて。(小林優子さん・立仏・同副会長)



交通事故ストップ・サ・白号線に取り組むライオンズの山崎尚さん(大野ライオンズクラブ専業委員会委員長)

大野ライオンズクラブは昨年から交通安全運動に力を入れていいます。10月8日(土)に8号線の交差点でドライバーの皆さんにチラシやパンフレットを配布して交通安全を呼びかけます。「奉仕と友愛」がモットーの私たちです。まずできることから始めて、運動の輪を広げてゆくことが、交通事故をなくすのに役立つと考えています。



交通安全推進委員になって山崎ミツ子さん(木場川前)は朝の街頭指導に立ちます。

交通安全推進員として主にやっているのは朝の街頭指導です。自分ではたいしたことをしていないとは思ってませんが、私も私の子供たちも交通安全に対する意識が高まったようです。交通安全のための活動を自分でやってみれば、だれもが身近かなもの感じて、自然と交通安全を心がけようという意識も高まるのではないだろうか。

1988
10
No. 301

くらさき

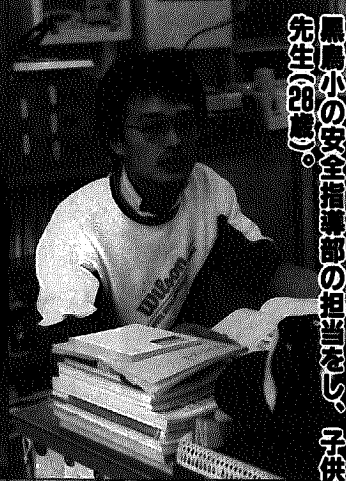
あなたとくなく
町をつなぐ
広報

通事故

三國コカコーラ新瀉支社は交通安全優良事業所として表彰を受けました(写真は管理部次長の佐藤昭夫さん)



製品を運ぶトラックは約90台ありますが、コカコーラというトレードマークをしょって走っているわけですから、事故は会社のイメージダウンにつながります。ですから必ず週に一回、一点検を行い、運転者についても、自覚を促すよう指導しています。いい機械(トラック)であっても、それを動かすのは人間なのでから。



黒鳥小の安全指導部の担当をし、子供たちの安全を気づかう本多剛先生(28歳)。

黒鳥小では春の自転車教室と秋の交通安全教室が交通安全の大きな行事です。そのほか朝礼などいろんな機会をとらえて、交通安全を身につけられるように指導しています。しかし学校での指導には時間的にも限りがあります。家族や地域の皆さんからの協力によって、子供たちへの交通安全指導も充実したものになると思います。



黒の老人交通安全推進委員の関根八才さん(中学通77歳)は交通安全の自覚を訴えます。

三年前に新発田から黒崎へ引っ越してきました。黒崎の方は老人の交通安全に対する意識が低いようです。交通安全教室みたいなものを老人クラブなんかで積極的に設けてもらいたいと思います。交通ルールをキチンと守るとか、もっと老人自身が自覚を持たなければ事故はなくなりません。事故に遭ってからは遅過ぎます。